



平成 26 年 3 月 31 日

各 位

株式会社リサ・パートナーズ

観光産業を対象としたファンド「観光活性化マザーファンド」組成のお知らせ

株式会社リサ・パートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中敏明、以下「当社」）は、本日お知らせしております、株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」）との「地域経済の活性化に関する業務協力協定」の第一弾のプロジェクトとして、株式会社地域経済活性化支援機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：瀬谷俊雄、以下「REVIC」）を加えた 3 社で、「観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合」（総額 1,300 百万円、以下「本ファンド」）を平成 26 年 4 月 1 日に組成します。本ファンドの業務執行は、DBJ 及び当社による合併会社である株式会社 RD 観光ソリューションズと REVIC キャピタル株式会社が共同で行います。

わが国は、全国各地に観光資源が数多く存在し、その産業全体の裾野も広いものであります。また、観光産業は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等により地域経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与することに加え、国際相互理解を増進するものであります。

地域の観光産業活性化とは、個社単位：点ではなく、地域全体：面で連携し、一体化した事業戦略のもと地域の魅力を高めることが肝要であり、加えて地域間で蓄積されたノウハウを広域で共有し、異業種を含めて連携することが観光産業の成長に寄与します。

本ファンドにおいては、特定の地域のみにおけるファンドを組成するのではなく、日本全国をカバーするため、本ファンドを親ファンドとし、その下に地域別のファンドの組成を行う予定です。

地域金融機関と協業による地域企業再生ファンドや投融資等のビジネスを展開し、地域経済の活性化支援に強みを持つ私ども 3 社が、タッグを組み、本ファンドを通じて、総力をあげて観光産業の活性化を取り組み、日本の各地域の活性化を推進してまいります。

当社といたしましては、全国での企業の成長・再生支援等を通じて蓄積したノウハウと豊富な人材を最大限活用しながら、地域経済の活性化および観光立国の推進に向けて、全力を挙げて取り組んでまいります。

※ 本ファンド概要等につきましては、別紙「観光活性化ファンド説明資料」をご参照ください。

〔本件に対する問い合わせ先〕

株式会社リサ・パートナーズ 経営管理部 電話番号 03-5796-8500（代表）

108.6219 東京都港区港南 2.15.3 品川インターシティ C 棟 19F

【観光活性化ファンド説明資料】

1. 観光活性化ファンドの内容

(1) ファンド概要

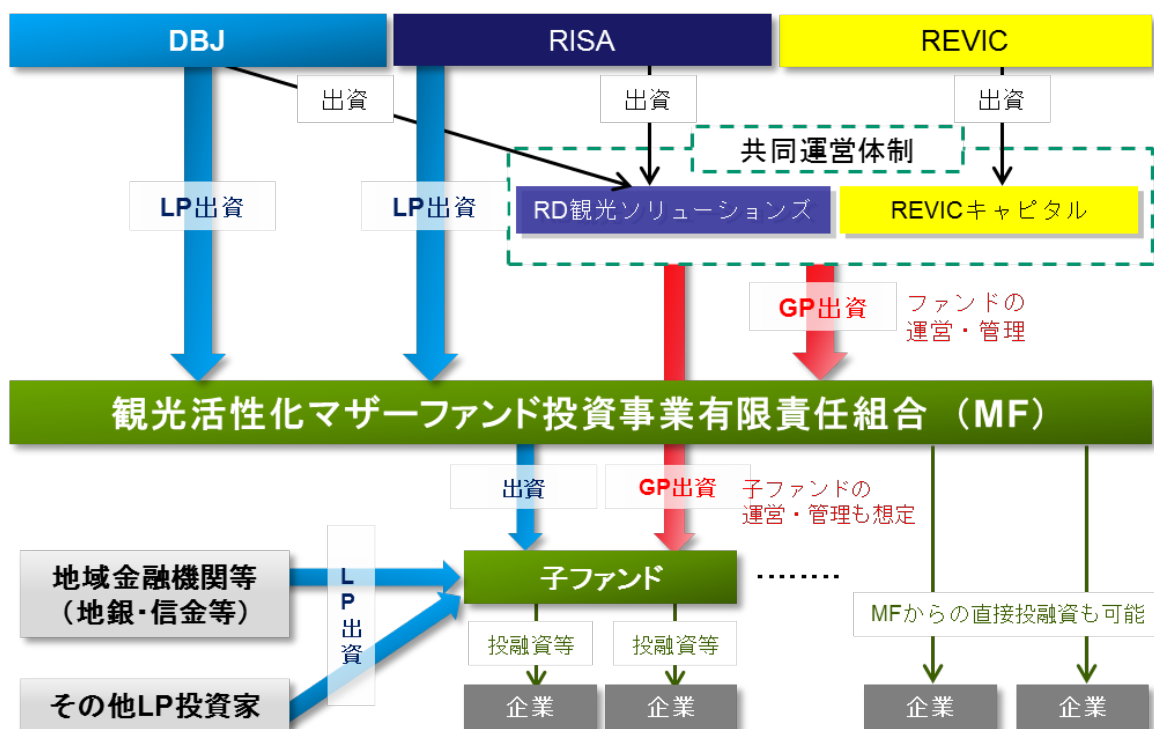
名称 : 観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合
 設立 : 平成 26 年 4 月 1 日 (予定)
 所在地 : 東京都千代田区
 ファンド総額 : 1,300 百万円
 無限責任組合員 : 株式会社 RD 観光ソリューションズ、REVIC キャピタル株式会社
 有限責任組合員 : 株式会社リサ・パートナーズ、株式会社日本政策投資銀行
 投資対象 : 旅館、ホテル、特産品生産者および地域交通をはじめとする日本における観光活性化に資する事業者の株式、金銭債権、融資等

(2) ファンド運営会社の概要

名称 : 株式会社 RD 観光ソリューションズ
 所在地 : 東京都港区
 代表者 : 田中 敏明 (当社代表取締役社長)
 株主 : 株式会社リサ・パートナーズ、株式会社日本政策投資銀行

名称 : REVIC キャピタル株式会社
 所在地 : 東京都千代田区
 代表者 : 田中 雅範
 株主 : 株式会社地域経済活性化支援機構

(3) ファンドスキーム図



以上